

熊野古道
中辺路

Kumano Kodo Nakahечи



発行:熊野三山観光協会 事務局:東牟婁振興局 地域づくり課 TEL.0735-21-9649



鉄道

●大阪から JR紀勢本線(特急くろしお号)

新大阪駅	特急くろしお/約3h20m	串本駅
	特急くろしお/約4h	紀伊勝浦駅
	特急くろしお/約4h20m	新宮駅

●名古屋から JR紀勢本線(特急南紀)

名古屋駅	約3h30m	新宮駅	約20m	紀伊勝浦駅
------	--------	-----	------	-------

航空機

羽田空港	約1h15m	南紀白浜空港
------	--------	--------

お車

名古屋IC	約3h15m	新宮市内
吹田JCT	約3h45m	新宮市内

路線バス





新宮市

Shingu City

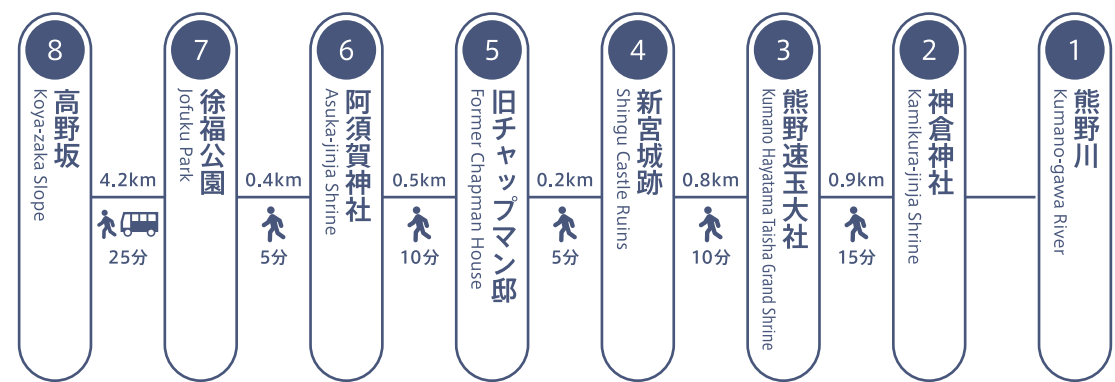
新宮市に河口のある熊野川は、熊野本宮大社と熊野速玉大社を結ぶ「川の参詣道」としてその一部が世界遺産に登録されています。

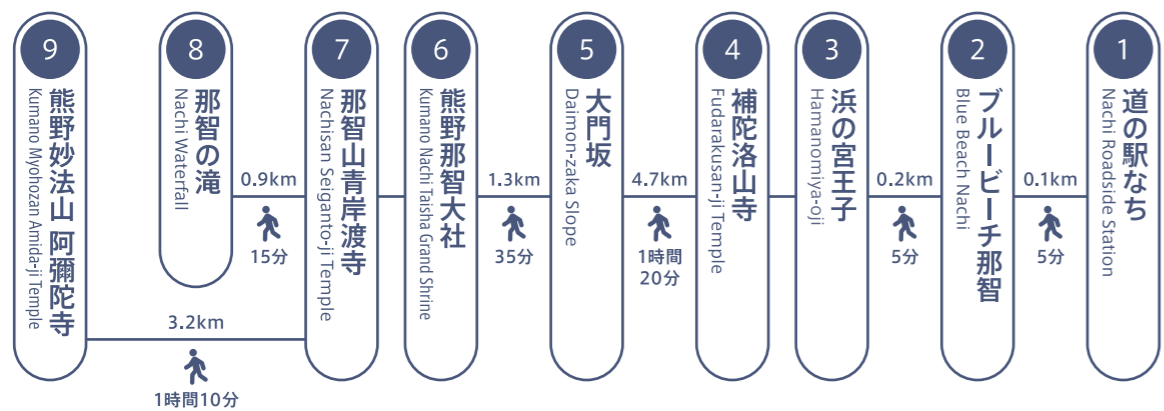
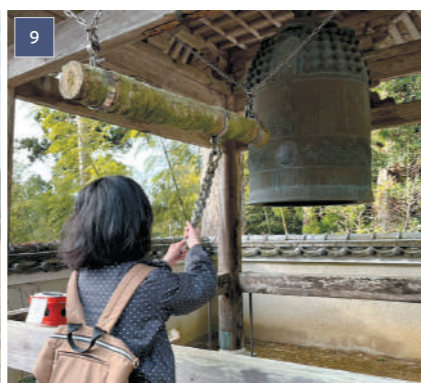
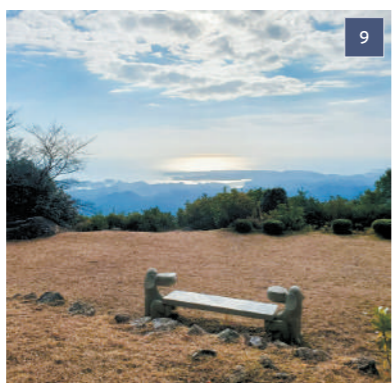
熊野三山のひとつである熊野速玉大社には、神倉神社のゴトヒキ岩に降臨された熊野権現がお遷りになっています。

また、新宮城(丹鶴城)跡の近くにある旧チャップマン邸は新宮市名誉市民・西村伊作が設計した建築物で、新宮市名誉市民で芥川賞作家の中上健次が執筆に励んだこともあり、ます。

阿須賀神社は秦の始皇帝の命を受け渡来した徐福とゆかりが深く、墓所は現在、徐福公園となっています。

熊野速玉大社を詣でた巡礼者たちは、新宮市街から熊野那智大社に向けて高野坂を歩いたとされています。





那智勝浦町

nachikatsuura Town

道の駅なち・ブルービーチ那智の側にある熊野三所大神社（浜の宮王子）は中辺路・大辺路・伊勢路の分岐点となっており、隣接する補陀洛山寺では補陀洛浄土を目指して那智の海から船出する補陀洛渡海が行われていました。

那智山の麓から続く大門坂は、樹齢数百年の深い杉木立に石畳の参道が続きます。熊野三山のひとつである熊野那智大社は熊野夫須美大神のご神徳により結宮とされており、側にある那智山青岸渡寺からは神仏習合の名残が感じられます。付近からは飛瀧神社のご神体である那智の滝を望むことができます。那智山の一角にある妙法山の中腹には阿彌陀寺があり、熊野地域では死者が妙法山に上って阿彌陀寺の鐘を鳴らしていくとの伝承が残っています。



5



5



2



1



1



7



7



6



4



3



3



7



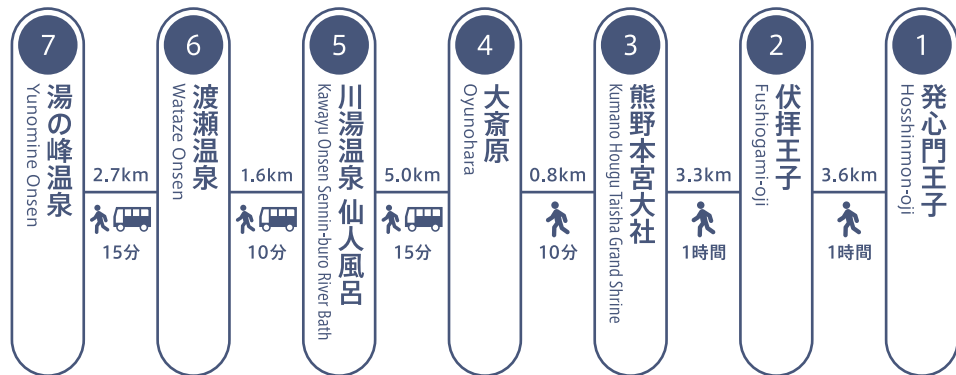
7



4



3



田辺市本宮町

Hongu Town Tanabe City

発心門王子は熊野九十九王子の中で最も格式が高いといわれる五体王子のひとつで、熊野本宮大社の神域への入り口とされています。伏拝王子は中辺路を歩いてきた参詣者が初めて熊野本宮大社（現・大斎原）を遠望できた場所、参詣者がここからこそって伏し拝んだことから名付けられました。

熊野三山のひとつである熊野本宮大社は家津美御子大神が主祭神で、社殿は明治時代の水害の影響で旧社地・大斎原から現在の位置に遷座されました。

田辺市本宮町は温泉の町としても有名で、川底から絶えず70度以上の源泉が湧き出し、河原を掘って露天風呂を作る川湯温泉や、大露天風呂が有名な渡瀬温泉、巡礼者が旅の垢を落としたといわれ、世界遺産にも登録されている湯の峰温泉があります。



8



7



3



2



1



10



10



9



5



4



12



11



11



6



4

- 12 野中の清水
Nonaka-no-Shimizu Spring
- 11 継桜王子
Tsugizakura-ji
- 10 近露王子
Chikatsuyu-ji
- 9 牛馬童子像
Gyuba-doji Statue
- 8 高原霧の里休憩所
Takahara Kirino-Saio Rest Area
- 7 高原熊野神社
Takahara Kumano-Injia Shrine
- 6 乳岩
Chichawa Rock
- 5 胎内くぐり
Tainai Kuguri
- 4 滝尻王子
Takifuri-ji
- 3 熊野古道館
Kumano Kodo Kan Hall
- 2 北新町の道分け石
Kishinachi no michiwakeishi at Kishinmachi Crossroad
- 1 扇ヶ浜海水浴場
Oigahama Beach

田辺市 市街地 & 中辺路町

Downtown & Nakahechi Town, Tanabe City

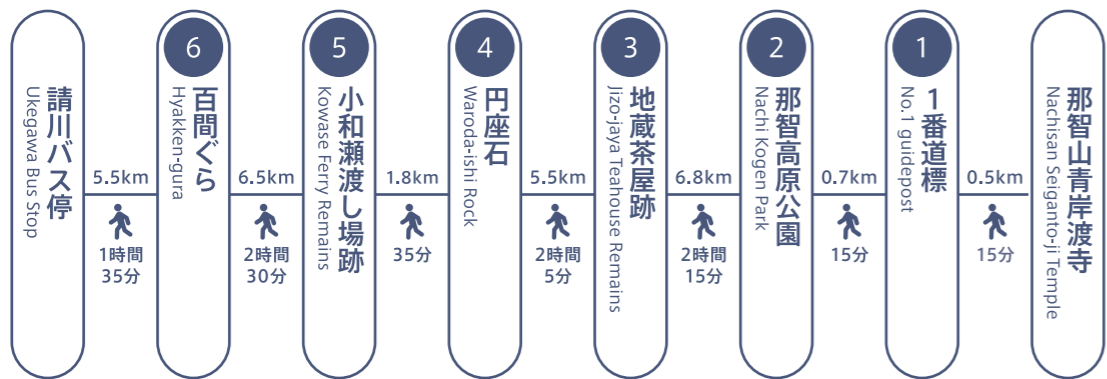
古くから最も多くの参詣者が利用してきた中辺路は、田辺から山中に分け入り熊野本宮大社に向かうルートです。巡礼者は田辺市江川の浜で「潮垢離」をして身を清め、中辺路を歩きました。この故事にちなみ、現在は扇ヶ浜海水浴場に「潮垢離場」が設けられています。滝尻王子は五体王子のひとつで、熊野の霊域の入り口とされたとあります。

中辺路は山中を進むため、胎内くぐりや乳岩といった巨岩がスポットとなっていて、また熊野本宮大社までの道中には熊野古道のシンボルの一つとなっている牛馬童子像もあります。他にも道中には熊野九十九王子社である近露王子や継桜王子などいくつもの史跡が短距離間に残されており、中世熊野詣の盛況が偲ばれます。



熊野三山(熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社、那智山青岸渡寺)へ通じる熊野古道は、平成16年7月に世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録され、令和6年は世界遺産登録20周年を迎えます。これを機に、新翔高校・神島高校の写真部の皆さんに若者目線で中辺路の魅力を撮影いただいたところ、撮影枚数は1万枚を超え、到底全てを紹介することは叶いませんでした。ですので、ぜひ「中辺路」にお越しいただき、その魅力を自身で探してみてください。

あしがき



大雲取越・小雲取越

Ogumotori-goe Section · Kogumotori-goe Section

大雲取越・小雲取越は熊野那智大社と熊野本宮大社を結ぶ参詣道です。その名の通り雲の中を行くような険しい山中の峠道で、500メートルごとに道標が設置されています。秋になると那智高原公園にはススキが一面に生い茂り、地藏茶屋跡は紅葉に彩られます。かつて巡礼者が立ち寄った茶屋は今、休憩所となっています。大雲取越終点近くの円座石には、熊野三山の神々が集まってここに座り、話をしたという伝説が残ります。かつて渡し船があった小和瀬の渡し場跡は小雲取越の入り口です。大雲取越と比較すると緩やかなアップダウンが続く道中には、熊野三千六百峰が一望できるといわれる百間ぐらがあり、熊野古道随一の絶景を楽しむことができます。